

フードコード・ファクトシート #30

コードについて知っておくべきこと

WWW.HEALTHOREGON.ORG
/FOODSAFETY

飲食施設でのプラスチック ストロー

OAR 333-150-0000、 定義

- (1) 「**使い捨てのプラスチックストロー**」とは、トウモロコシまたは別の植物源などの石油、あるいはバイオベースポリマー由来の、主にプラスチック製のチューブを指し、以下の使用が意図されています。
- (a) 容器から液体を消費者の口に運ぶため。
(b) 使い捨て目的。および
(c) 1回使用後の廃棄目的。
- (2) 「**使い捨てプラスチックストロー**」には以下は含まれません。
- (a) 紙、パスタ、サトウキビ、木、竹を含むが、必ずしもこれらに限定されない、プラスチック以外の材料製のストロー。および
(b) 飲み物の容器が販売される前に、飲み物の容器に添付、または飲み物の容器と一緒に包装されるプラスチックストロー。

OAR 333-150-0000、チャプター4-502.13(C) 1回分および 使い捨ての物品、 使用制限

- (A) 1回きりの、および使い捨ての物品は再利用できません。
- (B) バルクミルク容器のディスペンサーチューブは、冷やしたディスペンサーヘッドから突き出ている1インチ以下を残して斜めにカットされるものとします。
- (C) (1) 飲食提供者はまたはコンビニエンスストアは、消費者が具体的に使い捨てストローを求めない限り、使い捨てのプラスチックストローを提供することはできません。
- (2) 飲食施設は、車両に乗っている消費者に対し、使い捨てのプラスチックストローを提供することができます。
- (3) コンビニエンスストアは、従業員が対応する場所にスペースがない場合、人のいない場所に使い捨てストローを置くことができます。
- (4) コンビニエンスストアは、一括で、または食品や飲み物の販売や提供とは無関係に、販売用の使い捨てストローを販売あるいは提供することができます。

上院法案90 (Senate Bill 90) は、2019年の立法議会中に可決されましたが、これは、明示的に要請されない限り、飲食施設が利用者にプラスチックストローを提供するのを制限するものです。フードサービス従業員は、利用者がドライブスルーで車内にいる場合、プラスチック製の使い捨てストローのみを利用者に提供することができます。

この制限は、ストローを患者や居住者に提供する医療施設や居住介護施設には適用されません。

コンビニエンスストアは、店の従業員が利用者にサービスを提供する場所にストローを保管するスペースがない場合、従業員のいない場所で利用者が使い捨てのプラスチックストローを利用できるようにすることができます。ストローを置く場所、そして十分なスペースがあるかどうか判断するのは運営者です。



利用者が車内にいない限り、ストローは、利用者が要請する必要があります

追加情報：

- ストローは、ドライブスルーにいる利用者のフードバッグに自動的に入れることはできません
- 小さなカクテルストローはこの制限の対象です
- 施設は、利用者が、ストローを希望する場合に求める必要がある旨の表示を掲げることができます
- オンライン注文システムを導入していない施設は、「チェックボックス」、またはストローについてのその他の表示を使用することはできません。利用者（またはデリバリーサービス）は、注文の品を受領する際にストローを要請する必要があります
- ガラスや金属のように、多目的で滑らかで洗浄が容易なストローは、制限なしに許可されます
- 多目的のストローはそれぞれ、使用のたびに、小さなブラシを使ってしっかり手洗いし、ゆすいで除菌される必要があります
- 竹製のストローは、滑らかで簡単に洗浄できるものではないため、認められません
- 使い捨ての生分解性ペーパーストローは、制限なしに許可されます
- 植物/プラスチックポリマーストローは認められません